

JSBA ジュニア農芸化学会2025

高校生による研究発表会

— 化学・生物・環境・生命科学 —



農芸化学会とは...

動物・植物・微生物の生命現象、生物が作る物質、食品と健康などを、主に化学的な考え方にもとづいて基礎から応用まで広く研究する分野です。

日本農芸化学会大会は、この農芸化学分野の研究者約5,500人が毎年一同に介する国内有数規模の大会です。ジュニア農芸化学会は、大会期間中に開催される高校生による研究発表会で、今年で19回目です。

この機会に、みなさんの研究成果を発表してみませんか？

日時

2025年3月7日(金) 8:30～14:00 (予定)

※日本農芸化学会2025度大会の会期中(3月4～8日)に開催します

会場

札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

9月下旬より応募受付を開始します

ジュニア農芸化学会に参加すると...

- 全国の高校生と研究活動を通じて交流
- 農芸化学会に参加する大学教員、企業や公的機関の研究者、大学院生と質疑応答
- 優秀な発表にはポスター賞の顕彰
- 発表演題の中から数題を選抜し、日本農芸化学会和文誌「化学と生物」に農芸化学@HighSchoolの記事として掲載

ジュニア農芸化学
参加登録料
無料^注

注

- 大会の全てのイベントに参加できるわけではありません。全てのイベントへの参加には別途、大会への参加登録が必要です。
- 参加登録料は無料ですが、会場への交通費・宿泊費・発表準備に関する費用(ポスター印刷費など)については、各校においてご負担をお願いします。
- 遠方からの参加校につきましては旅費を一部補助する場合があります。
- ジュニア農芸化学会の会場には事前登録いただいた発表者と引率者のみ入場できます。

応募資格

高等学校の生徒、もしくは、高等専門学校(3年以下)の生徒であること
(例: 高等学校化学クラブ、生物クラブ、生活科学クラブ、農業・園芸関係高等学校他)
指導の先生も参加可能 『発表件数を1校あたり1件のみ』とさせていただきます

研究分野

化学、生物、環境、生命科学および
それに関連した研究一般

発表形式

ポスター: A0判1枚以内(横 84.1 cm × 縦 118.9 cm)

Webサイト

https://www.jsbba.or.jp/science_edu/event_junior.html



問合せ先

日本農芸化学会2025度大会 ジュニア農芸化学会担当
北岡 直樹(北海道大学農学研究院)
E-mail: junior2025@jsbba.or.jp



生命・食・環境を科学する学会

公益社団法人 日本農芸化学会